

# 京大地球物理学研究の百年

## 目次

緒言	1
研究会「京大地球物理学研究の百年」(第1~3回):プログラムと参加者	2
第1回研究会	
尾池和夫: 所長挨拶	4
竹本修三: 寺田寅彦と京大地球物理学との関わり	6
島田充彦: 阿武山地震観測所と京大高压実験の歴史	8
須藤靖明: 京大火山学研究の光と影	13
山元龍三郎: 滑川忠夫先生に続く京大気象学の系譜	17
佐納康治・永野宏: 長谷川万吉先生と地球電磁気学研究	20
総合討論(司会: 荒木 徹)	27
第2回研究会	
竹本修三: 開会挨拶	34
尾池和夫: 大陸移動説の歴史を振り返る	35
大谷文夫: 京大地殻変動観測に携わった40余年	39
石原和弘: 東南アジアの火山研究—京大の海外貢献	43
淡路敏之: データ同化によるバーチャル海洋づくり	47
加藤 進: 地球電磁気学研究で京大の果たした役割	51
廣田 勇: 国際気象界のなかの日本—京都から何が発信されたか	57
総合討論(司会: 荒木 徹)	62
第3回研究会—京大地球物理学研究の現状と将来の展望—	
竹本修三: 開会挨拶	68
福田洋一: 固体地球物理学分野の現状と将来	69
余田成男: 大気圏物理学分野の現状と将来	73
町田 忍: 太陽惑星系電磁気学分野の現状と将来	78
総合討論(司会: 廣田 勇)	82
研究会世話人会メモ(1)	88
研究会世話人会メモ(2)	92
特別寄稿	
加藤 進: 京大地球物理学教室初期における教授群像	93
川崎一朗: 「京大地球物理学研究の百年」を聞きながら考えていたこと	95
橋爪道郎: 京大における爆破地震動観測と地殻構造の研究	99
三雲 健: 京大の1970-80年代の地震学研究の1側面: プレート・テクトニクスと地震発生機構	103
安成哲三: 京都大学の「気候学研究」は何をやってきたか? —気候学40年史の批判的総括—	109
竹本修三: 西堀榮三郎と阿武山地震観測所	113
永野宏・佐納康治: 上海自然科学研究所物理学科と京都帝国大学理学部との関わり	117
荒木 徹: 地磁気世界資料解析センターの設立	132
対談	
佐々憲三・三木晴男: 京大地震学史に関連して	137
京大地球物理学研究に関係した教員の在職期間一覧	149
編集後記	156